

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年12月19日

事業所名 児童発達支援センター ひばり園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	・課題保育、行事は、利用人数によって部屋をわけている。	
	2	職員の配置数は適切である	8	0		・4対1の基準を満たし、保育所等訪問支援のため、1人多い配置になっている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	・保育室に、掲示物等貼らず視覚刺激にならないよう配慮している。	1日の流れを写真等でスケジュール化している。 ・課題保育では、子どもの写真や保育者の写真を貼ったり保護者がわかるよう保育目標を提示したりしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	・毎日清掃及び使用した玩具の消毒を行っている。 ・空気清浄機や加湿器、エアコン等快適に過ごせるようにしている。	・遊具の破損などの点検は、消毒の際確認している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	・朝の会やひばり会議、自主研修の中で、業務改善を進めるために日々気づいたことを入話し合いをしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	・保護者から聞いた意見は職員間で話し合った後、保護者に掲示にて回答、改善に取り組んでいる。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	・児童発達ガイドラインの自己評価結果表と保護者評価結果表を集計し、掲示を行っている。 ・ホームページにおいても公表している。	・評価の結果を、今年度より、配布するようしていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	0	・外部評価は行っていないが、県内の児童に係る職員の研修場所であるため、研修後、評価を頂いたり、アンケートを記載してもらったりして、業務に生かしている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	・園内で専門研修や伝達研修を定期的に行っている。 ・法人全体研修や外部研修会は、コロナの関係でZOOM研修で参加している。 ・年齢関係なく、提案や意見を出し合っている。	・毎月自主研修を行っているが、全員がそろってできるよう調整の必要がある。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	・アセスメント及びモニタリングを行い、子ども及び保護者のニーズに基づき現状把握をした上で、長期目標を立て、スモールステップの支援目標を項目別に立てている。	・家族支援で親講座及び個別面談を行っていることを記載するようにした。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	・遠城寺式・乳幼児発達検査表等を使用し、一人ひとりの現段階をチェックしている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	・児童発達ガイドラインに沿って観察及び聞き取りにより現状を記載し、支援目標と支援内容を具体的に設定している。 ・日常生活に般化される具体的な支援目標になっており、支援内容も誰が見てもわかりやすい内容にしている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	・児童発達支援計画に基づき、個別対応や集団での療育を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	・担当職員が主となり、同じグループ同士で立案している。 ・発達段階に応じた療育内容の統一を図るため、職員間で実践し、確認し合っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	・年間、月間の保育計画を立てて、実施しており、個別目標が達成できるように内容を工夫している。	・計画は立案しているが、子どもの状態に応じて柔軟に変更できるようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	・一人ひとりのニーズに合わせて基本的な生活習慣の確立や集団活動を通して、社会性やコミュニケーション方法等のスキルを身につけるように計画書を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	・朝の職員会議の際に、その日に来るお子さんの支援方法や保護者対応について職員間で検討し、適切な対応ができるよう統一を図っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	・その日登園したお子さんの状態と適切な支援が行われたか振り返り、職員間で共有している。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	・個別記録に詳細を記録している。 ・行動の検証や支援方法の改善を行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	・6か月以内にモニタリングシートに達成か継続かを保護者と話し合い、会議の際に職員同士の意見も出し合い検討している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	・会議には、児童発達支援管理責任者及び担当者が参加し、関係者と成長や支援方法を確認しあっている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	・入園時やケース検討会などで必要に応じて情報交換を行っている。	・入退園の際に、もう少し積極的に連携を取る必要があると感じている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	0	・医療ケアの必要な子ども等はないが、他の事業所を利用する、または、就学する場合は、細かな情報交換を行っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	0	・医療ケアの必要な児童はないが、同法人の医療・リハビリテーション課との情報共有を行っている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	・移行する施設と電話連絡や会議を行い、情報共有と連携を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	・情報提供書や保育要録などを作成し、書面で情報提供を行っている。 ・必要なケースは、特別支援学校の教諭が、直接来園し情報共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	・併行事業所と連携し、支援内容の共有と連携を行っている。 ・発達障害者支援センターが主催する研修等に参加し研鑽に努めている。	・今年度は、県内の通所支援事業向けの研修会を1回企画することができた。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	0	・年に1回、併行通園していない児童を対象に交流保育を計画的に実施している。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	0	・月に1回、自立支援協議会の子ども部会に積極的に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	・保護者通園なので、家庭での様子等、保護者とは日頃からコミュニケーションを図り、変化点を伝える等共通理解を図っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に3回保護者講座にて全員の保護者へペアレント・トレーニングの一部を伝えた。</li> <li>・年長の保護者を対に、10セッションのペアレント・トレーニングを行った。</li> <li>・年中の保護者を対象に、ペアレント・プログラムを7セッション行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度同様、ペアレント・プログラム及びペアレント・トレーニングを行い、支援方法を身に付け、保護者が、移行先の園や学校へ子どもの支援方法を伝えることが出来るよう親講座や個別相談で書面にし確認するように進めている。</li> </ul>
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営規程に記載している内容に併せて、重要事項説明書と契約書及び必要経費について丁寧に説明を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営規程及び重要事項説明書を保護者が見る廊下に掲示している。</li> </ul>
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援ガイドラインに基づき、全体の発達支援の目標を掲げ、個別的には6か月以内に1回、児童発達支援計画書を示しながら、内容を説明し同意を得ている。</li> </ul>	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者も一緒に通園しているため、いつでも相談できる環境であり、個別相談も多く行っている。</li> </ul>	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回、親の会を開催し、保護者同士が話し合う時間を年間計画に入れ取り組んでいる。</li> </ul>	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの相談や要望等について、担当保育者が、上司に伝えたり、朝の会で職員間で話し合ったりして、その結果を保護者へ適切に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の相談については、相談申し込み書を提示しており、対応している。</li> </ul>
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりを月に1回発行し、行事予定等の情報伝達を行っている。</li> </ul>	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から入園時に個人情報の同意と許可を得て、使用する際は注意している。</li> <li>・文書の廃棄はシュレッダーを使用している。</li> <li>・保護者通園なので、行事ごと、個人撮影を行う際は、SNS等の掲示を行わないよう注意喚起している。</li> </ul>	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの特性に応じたコミュニケーションツール(写真や文字など言葉以外の意思伝達手段等)を、保護者と話し合い、一人ひとりに合った配慮を行っている。</li> </ul>	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1	・法人全体で取り組んでいるが、今年度も、夏祭りや秋祭り等が今年度もコロナの関係で中止となった。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	・緊急時対応マニュアル・感染症マニュアル・防犯マニュアルを整備している。 ・保護者には、年度当初オリエンテーションの時に各マニュアルについて周知説明を行った。 ・緊急時対応マニュアルに従い訓練を実施した。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	・毎月1回発生場所ごとの避難経路を確認し、訓練を法人と一緒に実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	・アセスメントやモニタリング時に保護者に確認し、個別支援計画に記載している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	・医師の指示書に基づき、給食担当と連携し対応している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	・法人全体でインシデントとして共有し、事業所内でも対応を検討している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	・法人全体とひばり園内でも行い、全員が適切な対応ができるようしている。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	・ベルト等必要なお子さんについては、保護者に十分な説明をし、同意書に署名を頂いている。 ・個別支援計画書に記載欄を設けている。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。